

科目名：子ども家庭支援論 講義（2単位）	担当教員： 阿部真樹子（単独）	使用テキスト：出版社名・テキスト名 なし
<p>授業の到達目標及びテーマ：子どもとその家庭の理解を深め、子育て家庭への支援に関する保育者としての基本姿勢や支援の内容、それを実践するための方法、技術について学び、保育の現場で働く者が「家庭」を理解し、子どもの生活環境や生活状況の多様性を理解しつつ、子どもの最善の利益を尊重した柔軟な支援を行える力を養う。</p>		
<p>授業の概要： なぜ家庭支援が求められるのかという社会的背景に迫りつつ、家庭支援のための法制度や家庭支援のための様々な実践方法を学ぶ。学生の対人スキルを向上させるための授業形態をとっていくことにも力点を置く。</p>		
回	項 目	内 容
1	子ども家庭支援の意義と必要性	子ども家庭支援、子育て支援の意義を理解する。
2	子ども家庭支援の目的と機能	児童福祉法改正と子ども家庭支援の制度化・機能・原則を理解する。
3	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	子育て支援・次世代育成支援の背景と少子化対策からの移行、子ども・子育て関連3法の成立について学ぶ。
4	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	子育て家庭を支える社会資源について学ぶ。
5	保育の専門性を活かした子ども家庭支援	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における子育て支援について学ぶ。具体的コミュニケーションの取り方を実践。
6	子どもの育ちの喜びの共有	喜びを共有するツールについて考え、園だよりを作成。
7	保育者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援	地域の子育て家庭を取り巻く環境について考察し、関係機関全体に対する支援について学ぶ。
8	保育士に求められる基本的態度	保護者との信頼関係について考察し、バイステックの7原則等を学ぶ。
9	家庭の状況に応じた支援	家庭の状況とそれに応じた支援とは何かについて考える。
10	地域の資源活用と自治体等との連携・協力	社会資源の実際と活用等について学ぶ。
11	子ども家庭支援の内容と対象	子ども家庭支援の形態と各種アプローチの仕方について学ぶ。
12	保育所等を利用する子どもの家庭への支援	家庭が抱える生活課題と保育所等の役割について学ぶ。
13	地域の子育て家庭への支援	どのような支援事業・機関があるか、支援者の姿勢等について考察する。
14	要保護児童およびその家庭に対する支援	要保護児童の全体像について学び、支援の仕組み等について理解を深める。
15	子育て支援に関する課題と展望	支援ニーズの多様化と連携機関の多様化について学ぶ。
16	期末試験	
<p>参考書・参考資料等： 子どもとかかわる人のためのカウンセリング入門（西見奈子） おとなが育つ条件（柏木恵子） 保育者のための児童家庭福祉データブック 2019（中央法規）</p>		
<p>学生に対する評価方法： ①筆記試験（80点） ②レポートやスピーチ等（20点）</p>		